

中学歴史プリント（過去問類似）

昭和時代（戦後）

名前

得点

/8

問1 第二次世界大戦後、GHQ（連合国軍最高司令官総司令部）が日本の農村の民主化を目的として実施した「農地改革」の内容と結果の説明として、最も適切なものはどれですか。（2022年 三重公立入試 類似）

1. 政府が地主から強制的に土地を買い上げ、小作農に安く売り渡すことで、自分の土地を持つ「自作農」を大幅に増やした。
2. 地主から小作農への土地の無償譲渡を義務付け、すべての農民が平等な面積の農地を所有する「均分相続」を確立した。
3. 小作料の支払いを金銭ではなく農産物で行うよう義務付け、インフレーションから小作農の生活を守る政策をとった。
4. 大規模な農業法人を設立して地主の土地を集約し、小作農をその従業員として雇用することで、農業の近代化を推進した。

問2 1956年、日本はソ連との間で日ソ共同宣言に署名し、戦争状態を終結させて国交を回復しました。この宣言が日本の国際社会復帰において果たした、最も重要な役割は何ですか。（2018年 福岡県公立入試 類似）

1. 国際連合への加盟が承認された。
2. 連合国軍による占領が終了し、主権を回復した。
3. 東南アジア諸国に対する賠償問題がすべて解決した。
4. 日本とアメリカとの間で安全保障条約が初めて結ばれた。

問3 1945年の敗戦後、日本では深刻な食料不足が起こり、都市部の人々が農村へ衣類などを持参して食料を分けてもらう「買い出し」が行われるなど、苦しい生活が続きました。その後、日本が国際社会へ復帰し、発展を遂げていく過程で起きた出来事を、年代の古い順に正しく並べたものを選びなさい。（2024年 千葉県公立入試 類似）

1. 朝鮮戦争の勃発 → 東京オリンピックの開催 → 沖縄の日本返還
2. 東京オリンピックの開催 → 朝鮮戦争の勃発 → 沖縄の日本返還
3. 朝鮮戦争の勃発 → 沖縄の日本返還 → 東京オリンピックの開催
4. 沖縄の日本返還 → 朝鮮戦争の勃発 → 東京オリンピックの開催

問4 日本の経済成長率が5.1パーセントであった1980年代後半と、1.2パーセントにまで低下した1990年代後半の財政状況を比較したとき、1980年代後半に見られた特徴的な背景として正しいものはどれですか。（2022年 三重公立入試 類似）

1. バブル経済による好景気で企業の利益が上がり、所得税や法人税などの税収が豊富であったため、公債金への依存度が低かった。
2. 第一次石油危機後の不況に対応するため、政府が公共事業を抑制し、公債金を発行せずに予算を編成していた。
3. プラザ合意後の円安誘導政策によって輸出が急増し、関税収入が国の歳入の大部分を占めるようになった。
4. デフレ経済が進行したことで物価が安定し、公債金を発行しなくても社会保障費を十分に賄うことができていた。

問5 1972年に当時の田中角栄首相が中国の北京を訪問し、日中共同声明に署名したことで実現したことは何ですか。（2019年 長野県公立入試 類似）

1. 中華人民共和国との国交が正常化された
2. 日中平和友好条約が正式に調印された
3. 中国との間で貿易に関する関税が完全に撤廃された
4. 日本が連合国との講和条約を締結し独立を回復した

問6 日本におけるテレビ放送（白黒放送）の開始時期を踏まえ、その出来事が起こった様子がリアルタイムでテレビ中継されることが物理的に不可能であった歴史的出来事を次の中から選びなさい。（2023年 栃木県公立入試 類似）

1. 満州事変
2. ベルリンの壁の崩壊
3. 湾岸戦争
4. アメリカ同時多発テロ事件

問7 日本の高度経済成長期における国際的な評価と文化に関する説明として、最も適切な記述を選びなさい。（2019年 愛媛公立入試 類似）

1. 経済発展に伴い、1968年には川端康成が日本人として初めてノーベル文学賞を受賞した。
2. 非核三原則を提唱した佐藤栄作が、高度経済成長の達成を理由にノーベル文学賞を受賞した。
3. 国際連合への加盟を機に、黒澤明が日本人で初めてノーベル文学賞を受賞した。
4. 高度経済成長期の終焉直後、大江健三郎が日本人初のノーベル文学賞を受賞した。

問8 1940年代後半から1960年にかけて、日本の貿易額が大きく増加した背景を説明した文として、当時の条約や国際協定の仕組みを踏まえた最も適切なものはどれですか。（2019年 東京都公立入試 類似）

1. サンフランシスコ平和条約によって主権を回復し、GATTに加盟して自由貿易体制に参加したことで、国際市場への輸出が促進された。
2. 日中平和友好条約の締結によってアジア市場を独占し、世界恐慌以来の経済混乱を克服して重化学工業の輸出を拡大させた。
3. 第一次世界大戦後の好景気を背景に、国際連盟の主導によって関税が撤廃され、欧米諸国との貿易額が飛躍的に伸びた。
4. 第4次中東戦争による石油危機を乗り越えるため、資源供給の安定を目的とした平和条約を多くの産油国と個別に締結した。

答え合わせ・解説

問1	答え 1 政府が地主から強制的に土地を買い上げ、小作農に安く売り渡すことで、自分の土地を持つ「自作農」を大幅に増やした。	当時の農村では、多くの農民が地主に高い小作料を払って土地を借りる「小作農」であり、これが貧困や封建的な社会構造の原因となっていました。GHQは農村の民主化には土地所有の再分配が必要だと判断し、政府を通じて地主の土地を買い取り、小作農に安く売り渡す改革を行いました。これにより、自立した「自作農」が急増し、農村の民主化と安定がもたらされました。
問2	答え 1 国際連合への加盟が承認された。	第二次世界大戦後、日本は国際連合への加盟を希望していましたが、安全保障理事会の常任理事国であったソ連が拒否権を行使したため、加盟が認められない状況が続いていました。1956年に日ソ共同宣言によってソ連との国交が回復したことで、ソ連が日本の加盟を支持する方針に転じ、同年のうちに日本の国際連合加盟が正式に認められました。主権回復は1951年のサンフランシスコ平和条約によるものであり、日ソ共同宣言はその後の重要なステップです。
問3	答え 1 朝鮮戦争の勃発 → 東京オリンピックの開催 → 沖縄の日本返還	1950年に隣国の朝鮮半島で朝鮮戦争が勃発し、その軍需物資の注文（特需）が日本経済復興の足がかりとなりました。その後、高度経済成長を背景に1964年に東京オリンピックが開催され、日本の国際的地位の向上を象徴しました。そして1972年には、戦後アメリカの施政権下にあった沖縄の日本返還が実現しました。
問4	答え 1 バブル経済による好景気で企業の利益が上がり、所得税や法人税などの税収が豊富であったため、公債金への依存度が低かった。	経済成長率が高い時期は、企業の利益や個人の所得が増えるため、政府は国債を発行しなくても十分な税収を得ることができます。1980年代後半はバブル経済の絶頂期であり、一般会計歳入における公債金の割合が約10パーセント程度まで低下しました。しかし、1990年代にバブルが崩壊して成長率が低迷すると、景気対策のための支出増や税収不足により、再び公債金への依存度が高まっていくことになります。
問5	答え 1 中華人民共和国との国交が正常化された	1972年の日中共同声明により、それまで国交が断絶していた日本と中華人民共和国の間で国交正常化が果たされました。これにより、第二次世界大戦以来の不正常な状態が解消されました。この国交正常化を祝して、中国から上野動物園へパンダが贈られたことは、当時の友好ムードを象徴する出来事として知られています。
問6	答え 1 満州事変	日本でテレビ放送（白黒）が開始されたのは1953年（昭和28年）です。選択肢のうち、満州事変は1931年（昭和6年）に発生した出来事であり、テレビ放送が始まるよりも20年以上前であるため、リアルタイムで中継されることはありませんでした。ベルリンの壁の崩壊（1989年）、湾岸戦争（1991年）、アメリカ同時多発テロ事件（2001年）は、いずれもテレビ放送が普及した後の出来事であり、世界中にその様子が中継されました。
問7	答え 1 経済発展に伴い、1968年には川端康成が日本人として初めてノーベル文学賞を受賞した。	日本がGNP（国民総生産）で世界第2位の経済大国となった1960年代後半、文化面でも大きな成果が現れました。川端康成は1968年に日本人として初めてノーベル文学賞を受賞し、日本の文学的価値を世界に証明しました。佐藤栄作が受賞したのは平和賞であり、大江健三郎の文学賞受賞は平成に入ってから1994年です。
問8	答え 1 サンフランシスコ平和条約によって主権を回復し、GATTに加盟して自由貿易体制に参加したことで、国際市場への輸出が促進された。	日本の戦後復興は、政治的な独立と経済的な国際体制への参加がセットになって進められました。1951年のサンフランシスコ平和条約で国際社会への復帰が認められ、その後1955年にGATT（関税と貿易に関する一般協定）に加盟したことで、不当な関税障壁を減らし、自由な貿易を行う環境が整いました。この仕組みを利用して日本は工業製品の輸出を増やし、1960年にかけての急速な経済成長の基盤を築きました。他の選択肢に含まれる世界恐慌や第一次世界大戦、中東戦争は時期が異なります。